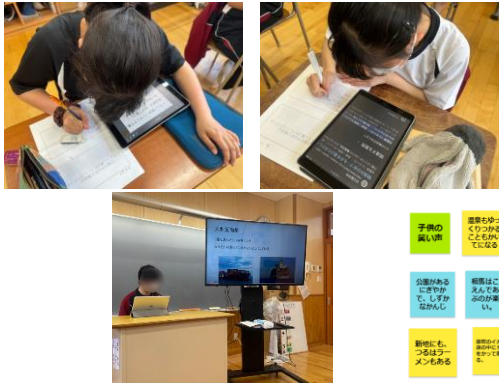


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

考えを共有するための ICT 活用 「調べ学習のまとめと意見交換」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部 3 年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・男子 1 名、女子 4 名の学習集団。言語でのやり取りはできるが、他の刺激の影響を受けやすく、気がそれてしまうことが多い。 ・視覚優位の傾向が見られ、目から入る情報だと記憶に残りやすい。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	社会
	単元(題材)名	「私たちの生活と産業」
	単元(題材)の概要	・国内で行われている産業について、生産の工程や技術の向上、輸送などに着目し生産者から消費者に届くまでの流れについて調べる。また調べたことについて、まとめたり表現したりする事を通して、国内産業の特色や課題解決に向けた取り組みについて考えようとする態度を養う。
教材・教具支援機器について	教材・教具支援機器	タブレット端末、アプリ (PowerPoint、jamboard)、デジタルホワイトボード 
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○人前で話すことが苦手な生徒も意思の表出ができる。 ○プレゼンテーションソフトを使うことで、分かりやすくまとめることができる。 〈工夫点〉 ・色別にすることで、視覚的に自分の意見や同義の意見を分かりやすくグルーピングできるようにした。 ・大切なところや特に伝えたいところを色や大きさで強調するようにした。
	材料・作成方法等	テレビモニター、タブレット端末、アプリ (PowerPoint、jamboard)
子どもの変容や評価		・話すことや考えをまとめることが苦手な生徒でも、デジタルホワイトボードを使うことで、箇条書き形式で多くの意見が出るようになった。 ・自分の考えだけではなく、友達考えにも関心を持つようになり、色々な形で対話も起きるようになった。 ・プレゼンテーション形式にしたことで、何を伝えればよいか、分かりやすく伝えるためにはどうするかなど、調べたことを自分で整理することができた。